

専念寺 寺院案内パンフレット

媒体／パンフレット

仕様／A4片観音折・6ページ・カラー

浄土宗の寺院で檀家・一般参拝者向けのご案内パンフレット。

専念寺の教え

宗旨は浄土宗。
宗祖は法然上人(鎌倉時代 西暦1133~1212)。
御本尊は阿彌陀如来。

だれでも阿彌陀如来の本願を信じて
南無阿彌陀仏と唱えれば必ず救われ
極楽浄土に往生することができる信仰です。

専念寺案内図

専念寺の歴史

浄土宗 専念寺は、寛永5年(1628)親鸞茂天土人が四谷本村町にはじめられ、明暦2年四谷北寺町に移り、更に寛文6年(1666)現在の地に建てられました。

当時、武蔵国豊島郡東大久保村は、江戸の郊外で田畑が広がっていたようです。高台であるため富士山がよく見えたのです。

由緒ある建物や仏像は、昭和20年4月13日の空襲で焼失。御本尊 阿彌陀如来と過去帳が現存しています。

昭和35年に現在の本堂、同39年には客殿が再建されました。今の住職は第25代です。

交通のご案内

■電車の場合

- 都営大江戸線「若松河田駅」河田口より徒歩約7分(450m)
- 都営大江戸線「東新塚駅」A2より徒歩約7分(430m)
- 東京メトロ副都心線「東新塚駅」A2より徒歩約7分(430m)
- 東京メトロ丸の内線「新宮御苑前駅」橋口より徒歩約14分

■バスの場合

- <新大塚駅よりお越しの方>
新大塚駅西口より「都営バス」番75系統にて「後井天」下車、徒歩約1分
- <高田馬場駅よりお越しの方>
高田馬場駅西口より「都営バス」番71系統にて「後井天」下車、徒歩約1分

浄土宗
佛願山 正定院 専念寺

〒160-0022 東京都新宿区新大塚6-30-6
TEL: 03-3351-7968 FAX: 03-3351-7470

月かげの いたらぬきとは なければ
ながむる人の 死にぞすむ
法然上人(浄土宗祖)

表紙

本堂

本堂では阿彌陀様を中心として浄土宗のお経を読み、お念仏を唱える修業の場です。
お檀家みなさんの法要・行事・子供会などが日々つとめられ、浄土宗の信仰を深めています。

お地蔵さま

江戸時代からの六地藏さまと並んで子育て地藏尊、いつも優しいお顔とお姿で皆さんを見守っています。いつもお参りする人が絶えません。

年中行事

- 1月
 - 修正会 新年の集い
- 3月
 - 彼岸会法要 (春分の日)
- 4月8日
 - 花まつり
 - こども会
- 5月28日
 - 施餓鬼会法要
- 7月
 - 盂蘭盆会
 - 新盆の法要
 - 夏休み中 —
 - 夏休み ラジオ体操会 毎朝7時～
 - 縁座こども会
- 9月
 - 彼岸会法要 (秋分の日)
- 10月28日
 - 十夜会法要
- 随時
 - 専念会
 - 写経会
 - 念仏会
 - 参拝旅行会

観音様

昭和17年に当時の檀家さんが建立した像。地下は防空壕になっていました。御本尊の阿彌陀如来は、空襲時にはこの観音様の下で難を逃れました。

戦災で亡くなった人々、そして現在は緑の無い方々を祀る納骨堂になっています。

専念寺お参りの心得

- 一 専念寺の中丸は本堂の御本尊 阿彌陀如来です。此方は御主人の阿彌陀様へ 教事にお参り出来ることを感謝し合せて「南無阿彌陀仏」と唱えます。
- 二 お寺の人へ挨拶しましょう。皆さんが毎日、いつも気持ちよくお参りできるように管理しています。お互いの教事な顔を見るのは嬉しいことです。
- 三 お参りへは お水 お線香 お花を供え「南無阿彌陀仏」と唱えて、清らかな気持ちで参り合います。
- 四 お供え物は、裏石が汚れたり、カラスの糞になったりしますので、持ち帰って下さい。
- 五 墓地内へは、いらない人が入ります。十分に気を付けて下さい。
- 六 専念寺のお墓は、夜々の住職が墓にお参りして「ただお檀家みなさんの御先祖様のお参りです。大切にします。」